

豊中の未来を描こう！！

発行 2015年7月

VOL. 105

紫外線が気になる
季節になって
きましたね。

豊中市議会議員
無所属

かんばらこういちろう 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

◆6月定例会 個人質問報告◆

①期日前投票の状況について

Q. 前回の選挙と比較して、今回の統一地方選挙の期日前投票者数は？

A. 大阪府議会議員選挙は、前回2万915人、今回は約1.4倍の2万9628人。
豊中市議会議員選挙は、前回1万9426人、今回は約1.5倍の2万9189人。
大阪大学で初めて設置した期日前投票所では、両選挙とも約340人が投票。

Q. 66か所の通常の投票所と3か所の期日前投票所、それぞれの開設に係る経費は？

A. 通常の投票所66か所の経費は総額約2900万円、1か所あたり約43万5千円。
期日前投票所3か所に係る経費は総額約1260万円、1か所あたり約419万7千円、
1日あたりに換算すると約38万2千円。

②不正投票防止の取組みについて

Q. なりすまし投票や同一人物の複数回投票など、不正投票の防止に対する取組み状況は？

A. 必要に応じ、本人確認できるものの提示を求め、二重投票の防止については、期日前投票をされた方が再度期日前投票や当日投票に来られた場合、本人に投票済みであることを伝え、万一、本人が投票していないと主張された場合は、「仮投票」をして頂くとともに、速やかに警察と協力して調査している。

③主権者教育について

Q. 投票年齢の引き下げを契機に、適切な主権者教育が必要かつ急務ではないか？

また、適切な主権者教育の観点から、生徒会選挙の実施はもちろん、公職選挙に出来る限り近い生徒会選挙のあり方を検討すべきではないか？

A. 学校では、政治制度や選挙制度を単に知識としての理解で終わることなく、選挙の意義や国民一人ひとりに課せられた役割等について、早期から気づかせる取組みが大切と考えている。生徒会選挙については、そのよりよいあり方について、学校とともに考えていく。

④乳幼児の健康診査について

Q. 乳幼児の健康診査を集団で実施するメリットは？

A. 集団健診のメリットは、専門職がそれぞれの有する技術や知識を共有しながら親子を観察し、出生時の情報等とも合わせて発達段階に応じた適切な支援を一元的、継続的に出来ること。

⑤学校給食のイラスト付き食器の活用について

Q. 今年から小学校給食にマチカネくんのイラスト付き食器が導入されたが、児童の反応は？

A. これまでの食器に比べ、熱いものが入っていても使いやすく、また、マチカネくんが付いているので、児童は親しみを感ずっている様子だと聞いている。

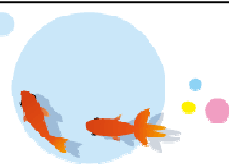
保育所等でのマチカネくんのイラスト付き食器の導入は、大量の食器の入れ替えコストがかかるため難しいと考えるが、今後、食器の購入が必要となった際には、素材等も含めて検討する。

神原宏一郎の個人質問の全容はホームページをご覧ください。

http://www.geocities.jp/positive_square/

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

メールアドレス：young_spiritjp@yahoo.co.jp



◆個人質問の詳細と神原の見解◆

①期日前投票の状況について～費用対効果の高い投票環境の整備を！！～

今回の府議会議員選挙では、全投票者の21.7%、市議会議員選挙では21.9%の方が期日前投票を利用されました。期日前投票所の設置箇所数を増やせば、投票率が向上するとは必ずしも言えませんが、少なくとも投票率低下の抑止には繋がるように思います。有権者のニーズや低下傾向にある投票率を考慮し、また、現在設置されている通常の投票所と期日前投票所の設置費用等も勘案して、出来る限り費用対効果の高い投票環境の整備を追求すべきです！！



②不正投票防止の取組みについて～公平、公正な選挙の追及を！！～

選挙は民主主義の根幹をなすものであり、選挙における基本原則(普通選挙・平等選挙・秘密投票・自由選挙・直接選挙)は厳守されなければならないと考えます。選挙管理委員会として様々な対応や対策をされていますが、現状では、なりすまし等による同一人物の複数投票、他人からの投票誘導や投票干渉等が絶対に起こらないとは言い切れない状況にあり、民主主義の根幹をなす選挙が公平かつ公正に実施されるよう対策強化に努めるべきです！！

③主権者教育について～投票年齢の引き下げを契機に！！～

これまでの義務教育課程で、主権者教育はあまりされてこなかったように思います。投票年齢の引き下げで、次の豊中市長選挙や豊中市議会議員選挙には、現在の中学生が有権者になる可能性があり、今まで以上に主権者教育を積極的に実施し、民主主義の意義、選挙の意義、投票の重要性などをしっかりと教えるべきです！！

生徒会選挙については、教職員など大人の都合や価値観で考えるのではなく、子どもたちが選挙の意義や国民に課せられた役割等を正しく理解、認識できる形を模索すべきです！！



④乳幼児の健康診査について～働く子育て世帯への配慮を！！～

乳幼児の健康診査については、子どもの予防接種が集団から個別接種になったように、市民ニーズや生活環境の多様化に沿った柔軟な対応や配慮が必要です！！

今では、民間の小児科の診察や予防接種などの予約はスマートフォン等でできます。行政の都合で定期健診の受診日時を一方的に指定している市の対応とは、子育て世代への配慮やサービスに大きな差を感じます。民間の配慮やサービスを研究し、より一層、働きながら子育てをしている世帯へのサービス向上に努めるべきです！！



⑤学校給食のイラスト付き食器の活用について～キーマンは子ども達！！～

現在、こども園では、乳児にはこれまでの小学校給食と同じアルミ製の食器、幼児には動物やキャラクターのイラスト付き食器が使用されており、今後、食器の購入が必要になった際、マチカネくんのイラスト付き食器の導入を検討すべきです。子どもの頃にマチカネくんに親しみを持てば、将来にわたってもマチカネくんに親しみをもち続ける可能性が高いはずです。子どもたちにとってマチカネくんがそういった存在になれば、その保護者も自然と親しみを持つはずです！！



発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階

TEL & FAX: 06-6854-5664

平日(土・祝日は除く)の 10時から 17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive_square/

Facebook 活用しています！！

「つながり日記」毎日 HP で更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



前向きひろば 神原宏一郎 事務所

